

V. 特記事項

1. スポーツ活動

本学は平成30(2018)年度の開学時より、レスリング部、陸上部、女子バレーボール部を強化指定クラブとし、令和6(2024)年度よりサッカー部を新たに指定し、その活動を全学的に支援している。

レスリング部では、令和3(2021)年9月の世界選手権で女子1名が優勝し、翌年9月の世界選手権では女子3名がそれぞれ優勝、準優勝、3位となった。令和5(2023)年9月の世界選手権では、女子2名が優勝、準優勝となり、今年8月のパリオリンピックに出場予定である。その他U20やアジア大会でも男女の選手が優勝や上位入賞を果たしており、創部から数年でめざましい快挙を成し遂げている。

陸上部の駅伝では、チームとして箱根駅伝の出場を目指して日々練習に励んでおり、成果として、令和2(2022)年1月の箱根駅伝に学連選抜として出場、令和4(2022)年1月の箱根駅伝にも学連選抜として出場、翌年の令和5(2023)年1月の箱根駅伝では学連選抜として出場し、1区をゴール近くまで独走を続け、沿道応援者や視聴者を驚かせた。

女子バレーボール部は、群馬県内大学選手権では優勝、関東大学リーグ戦で上位入賞を果たしている。

2. 教員養成プロジェクト

本学はスポーツの推進を図るとともに、同時に教育学部の使命として、教員養成にも力を注いでおり、教員採用試験の対策に特化した教職サークルという学生サークルがある。このサークルは教員採用試験を熟知した教員が中心となり、授業開講期間の空き時間や長期休暇を利用して、サークル構成員の学生に一般・教職教養や小論文、面接、模擬授業等の対策を行っている。教職サークルには上述の強化指定クラブに所属する学生も多数在籍しており、文武両道に励んだ結果、令和5(2023)年度は群馬県や京都府、長崎県など、学生の出身地の教員採用試験に合格し、この春より教員として教壇に立っている。

3. スポーツを強みとした教員養成

現在、小学校では教科担任制の導入が進められており、文部科学省では優先的に専科指導の対象とすべき教科(対象教科)として、外国語、理科、算数、体育を挙げている。

本学はスポーツ教育専攻をもち、かつ、強化指定クラブをはじめとする様々な運動部が活動を行っており、国が進める専門性をもった教員の養成という点で、スポーツを強みとした教員養成に大きく寄与することが可能であるため、令和6(2024)年度よりスポーツ教育専攻の定員をそれまでの50名から100名に増やし、また、地域の公立学校等でのボランティア活動等の機会をこれまで以上に設け、専門性の高い体育科教員の輩出に努めている。